

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	資源確保のための官民連携戦略の策定・調査研究会	担当部局庁	経済局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	経済安全保障課	課長 大隅 洋				
会計区分	一般会計	施策名	A-1 経済安全保障の強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	鉱物資源確保のための国際競争が激しさを増す中、本年6月に発表された「新成長戦略」には「資源エネルギー確保戦略の推進」が盛り込まれ、その具体的取組として鉱物資源確保に向けた官民連携を一層進めることが優先的課題となっている。本件調査により鉱物資源産出国への日本企業の進出を後押しするための専門的な調査分析を行い、戦略的な官民連携の実施に活用する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	鉱物資源を巡る資源メジャーや中国企業等の活動の実態分析、開発権益取得に係る日本企業の活動と政府の支援ツール(公的金融、ODA、貿易保険、人材派遣、情報提供等)との具体的連携策、当該国の資源関係キーパーソンの特定、汚職・環境問題等の投資リスク分析を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	-	-	-	2	3	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	2	3	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	我が国の鉱物資源確保に向けた官民連携戦略の策定のため、資源関係キーパーソンの特定、汚職・環境問題等の投資リスク分析を行い、我が国の外交的取組の方針策定を目的とし、右についての報告書を作成する。		成果実績	冊	-	-	-	1
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	我が国の鉱物資源確保に向けた官民連携戦略の策定のため、資源関係キーパーソンの特定、汚職・環境問題等の投資リスク分析を行い、我が国の外交的取組の方針策定を目的としている。		活動実績 (当初見込み)	冊	-	-	-	-
						(-)	(1)	
単位当たりコスト	2,456(千円/1冊)		算出根拠	予算額に対する報告書作成				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝礼金	2,456	2,624					
	計	2,456	2,624					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	適切な成果目標は立てているものの、達成度については23年度予算執行中のため判定不可能。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国産業界は、平成23年度の調査・研究対象であるアジア地域に加え、中南米、中央アジア等も視野に入れて、重要な鉱物資源の供給元の多角化を図っており、引き続きアジアをフォローするとともに、これら地域の主要資源国における鉱物資源確保に向けた官民連携戦略の策定のため、当該国、分野を専門とする有識者、コンサルタントを活用し、当該国の鉱物資源を巡る資源メジャーや中国企業等の活動の実態分析、開発権益取得に係る日本企業の活動と政府の支援ツール（公的金融、ODA、貿易保険、人材派遣、情報提供等）との具体的連携策、当該国の資源関係キーパーソンの特定、汚職・環境問題等の投資リスク分析等に関する調査研究会を開催し、報告書を取りまとめ、我が国の外交的取組の方針策定の参考としていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		－	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					